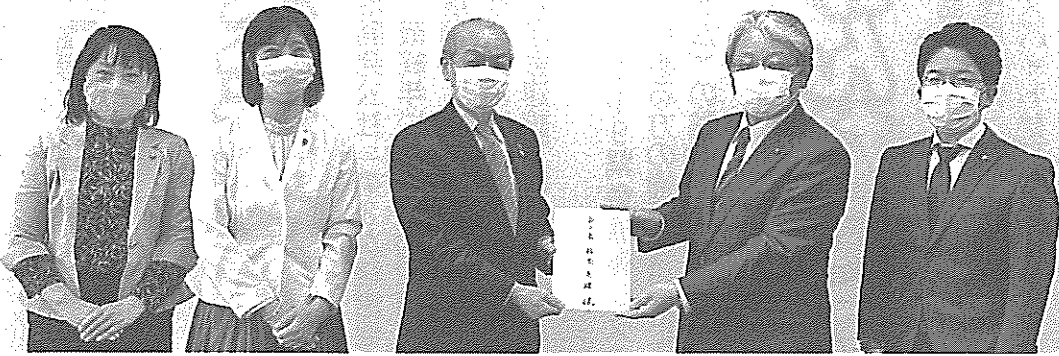


ワクチン接種の推進、検査医療の充実、暮らし営業の支援を 日本共産党蕨市議団が緊急申し入れ



蕨市長(中央)に申し入れを手渡す日本共産党市議団
(左から宮下市議、山脇市議、蕨市長、鈴木市議、武下市議) 市役所仮設庁舎2階
3月30日、日本共産党市議団は、蕨市長に「新型コロナウイルス感染症の対策に関する緊急申し入れ(4回目)」を手渡しました。現状を踏まえ、ワクチン接種の着実な実施、感染防止のための相談、検査、医療体制の拡充、暮らし・営業支援などの対策を求める内容です。

蕨市新型コロナ緊急対策 第5弾(概要)

〈更なる検査・医療体制の充実強化〉

○高齢者施設等従事者に対するPCR検査委託事業

重症化リスクの高い高齢者や障害者が入居する市内全ての施設の従事者に、月1回(計2回)のPCR検査を無料実施

○市立病院の医療体制強化支援事業

〈生活支援・経済対策〉

○蕨市フードパントリー補助事業

食料配布と生活相談を実施する蕨市社会福祉協議会へ補助

○蕨市電子商品券支給事業

全世帯への家計応援、地域経済の活性化、市内事業所への支援を図るために、全市民に1人3,000円の電子商品券を支給

〈ワクチン接種体制の確立〉

○新型コロナワクチン接種事業

市民へのワクチン接種に向け、接種券等の印刷やコールセンターの設置、システム改修など、接種体制を構築し、医療従事者・高齢者への接種をスタート

※詳しくは市役所にお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

3月市議会は新型コロナウイルス感染症拡大が深刻な状況で開催されました。蕨市長は市政運営について「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍」をテーマに、緊急対策第5弾など、市民の暮らしを支えるために全力で取り組む考えを示し

ました。日本共産党市議団も市民の声を届け、さらなる対策を求める立場で審議に臨みました。

に高齢者入所施設従事者への集中的な検査などを実施してきたことや、市立病院が検査や感染者の診療、他病院でのクラスター発生時の救急医療など重要な役割を担ってきたことが示されました。

また、新型コロナ対策全体で蕨市長は「市民はかつてなく厳しい」との認識を示し、緊急対策第5弾の他「必要な対策は、あったか市政の真価を発揮する立場から機能的に対応する」と述べました。

2021年 3月議会報告

コロナ危機を乗り越え いのち・暮らし・営業を守る 「あったか市政」の推進を

3月市議会 鈴木さとし議員の一般質問



鈴木 さとし のプロフィール

- 市議5期、党市議団長、総務常任委員会委員、党市議員長 社会保障をよくする際の会副会長
- 家族は、妻と子3人
- 中央5-9-7 ☎444-6957
- 主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目 中央1・3・4・5丁目

生活相談などお気軽に

ツイッター・フェイスブックでも発信中

「コロナ危機と高齢者施策」

鈴木 外出・交流の減少など高齢者へのコロナ禍の影響は深刻。見守り活動での通報と対応は。

健康福祉部長 通報55件中、入院中等34件、死亡11件、救急搬送9件、福祉部門による対応が1件。

鈴木 命を守る役割は大きい。見守りの取り組みを上げるため、交流誌発行を要望。老人福祉センター・老人憩いの家の状況はどうか。

健康福祉部長 感染防止のためのイベント中止等で利用者数は減。

鈴木 個人利用の減少傾向が気になる。感染防止上の限界はあるが、居場所として個人も利用しやすい環境を要望する。3大プロジェクトの

エクトの一つ「超高齢化社会に対応したまちづくり」での取り組みについて市長の見解はどうか。

蕨市長 認知症対策も含め大きな影響がある。その中でも工夫し、可能な対策を行っている。当面、ワクチン接種をしっかりと進め、従来の取り組みの再開に当たっては、市民の不安や様々な難しさにも丁寧に対応しながら進めたい。

大規模水害への対策

鈴木 6月議会で、大規模水害対策として居住環境や地域特性による避難方法を市民が検討できるような対応を要望した。その後「荒川氾濫時の避難行動判定フロー」が作成・配布されたが、今後の周知・活用についての取り組みは。

知・活用についての取り組みは。

市民生活部長 本年度に一部改訂を予定する洪水ハザードマップで、啓発面に想定浸水深表示や避難行動判定フローを入れる等周知する。

鈴木 さらに個別の避難方法を検討する出前講座や自主防災会担当者の学習会等の検討を要望する。

◆他に、留守家庭児童指導室の体制拡充、町会活動への支援等について質問しました。

コロナ危機と市立病院

市立病院は地域の基幹病院として、コロナ危機の中、大きな役割を担っています(一面記事参照)。そうした中、国会で「高齢者医療費負担2倍化法案」とともに問題になっているのが「病床削減推進法案」。「コロナ危機で求められる「医療確保」に逆行し、市立病院の将来にも重大な内容です。これからの「地域医療守り」の願いを掲げ、全力で頑張ります。



蕨市立病院：身近な病院・急性期を担う病院として役割はますます重要。

日本共産党市議団の 一般質問

日本共産党市議団は全員が一般質問を行いました。以下、各議員の質問の概要・テーマを紹介いたします。

やまわき紀子議員

◆市民負担増につながる県国民健康保険運営方針(第2期)について市の対応はどうか

◆子育てするなら「わらび」保育行政や子育て支援の推進を

武下涼議員

〔武下〕子ども達が自由に遊べる空間の確保を「市長ボール遊び等の問題を考えていきたい。」

◆ほかに「いのちを守るためのアウトリーチの推進を」自殺予防対策の観点から相談窓口の周知強化を要望しました。

宮下奈美議員

◆高齢者の「こみ出し」支援「ふれあい収集」の実施を

◆子どものメディア依存、健康被害について
◆ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成制度の拡充を求める
◆第3次蕨市DV防止基本計画

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2021年4・5月号

TEL 443-8332
FAX 444-6531

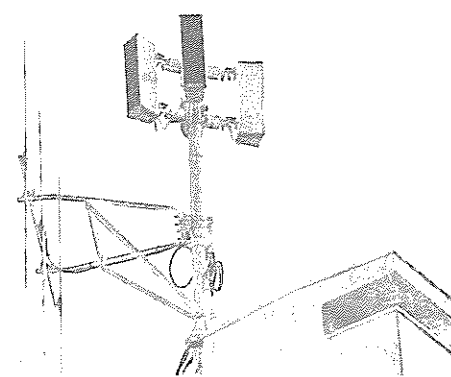
鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎443-8332
ホームページ http://www.jcp-warabi.jp
メール info@jcp-warabi.jp



2021年 市民を守る対策を盛り込んだ予算が成立

安全安心のまちへ

- ◆土地開発公社「第3次経営健全化計画」最終年にあたり約12億円の借金を解消
- ◆新庁舎建設事業 現庁舎の解体工事と新庁舎建設工事 完成2023年
- ◆Net119緊急通報システム（障害がある方の通報を可能にするシステム）の整備
- ◆高規格救急車を1台増やして4台体制に
- ◆洪水ハザードマップを県の被害想定変更に伴い改定し、想定浸水深などの情報を追加
- ◆防災行政無線の一斉情報伝達サービス 希望者に放送内容をメール・電話・ファックス等で提供



新たな機能が期待される防災行政無線

みんなにわたたからまちへ

- ◆手話言語条例リーフレットを作成し市民に周知
- ◆レスパイトケア事業補助金 医学的ケアが必要な心身障がい児を受け入れた施設に補助
- ◆子ども医療費の入院分を2022年10月から18歳まで拡充
- ◆第3地域包括支援センターを塚越2丁目に開設
- ◆子ども家庭総合支援拠点を設置し、児童虐待などの相談体制を強化
- ◆ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成金の対象拡大（対象家賃の上限を6万円から8万円に引き上げ）
- ◆民間留守家庭児童指導室を北町に増設
- ◆保育・子育てコンシェルジュを2名に増員し待機児童解消をめざす
- ◆新生児聴覚スクリーニング検査費助成 聴覚障害の早期発見・早期療育を目的に検査費の一部を助成
- ◆35人程度学級 市内小学校4学級で実施
- ◆スクールサポートスタッフ 感染防止など増加した事務に対応するため各小中学校に1名を配置
- ◆英語力の向上（中2・3年生を対象とするGTEC受験等を委託）

快適でやさしいまちへ

- ◆塚越商店街防犯カメラ入替え
- ◆中心市街地活性化基本計画の期間を1年延長と新プラン策定委託
- ◆道路・公園照明灯 リース方式で1270基をLED化
- ◆塚越陸橋線部の改修・耐震補強、藤跨線人道橋の耐震診断、市内全59
- ◆橋について5年に1度の橋りょう点検を実施
- ◆市民公園大型複合遊具の更新工事
- ◆住宅リフォーム助成制度（工事費5%、上限10万円助成）
- ◆多文化共生指針の策定（在住外国人をまちづくりのパートナーに）



更新される市民公園の大型複合遊具



第3地域包括支援センター(塚越2丁目)

- ◆小学校トイレ改修（東小・中央小）今後は順次推進
- ◆小学校エアカン設置工事設計（中央、北町地域2校分）中学校の体育館は新年度工事予定
- ◆ICT教育支援員を教育センターに配置
- ◆保護者連絡システムを導入

コロナ危機から市民を守る

- ◆新型コロナウィルスワクチン接種事業 高齢者の接種は5月から。はじめに施設入所者、以降については85歳以上、75〜84歳、65〜74歳と高齢者階層から順次予約を受け付け。
- ◆接種方法は、身近な医療機関（16か所）における個別接種（平日等）に加え、日曜日と木曜日に、保健センターを会場に集団接種を予定。問い合わせや予約はコールセンター105

コロナ危機にこそ「あったか市政」の真価を発揮 頼高市長の施政方針

頼高市長は、施政方針で、「コロナの影響で市民の皆さんが厳しい状況にある中だからこそ、『あったか市政』の真価を発揮する時」との見解を表明。2021年度は、「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」をテーマにまちづくりを推進していくと

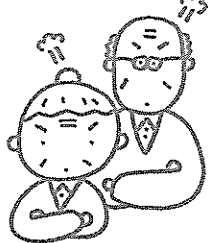
表明しました。

また、「コロナ緊急対策第5弾」や「3つの重点事業と三大プロジェクト」について詳細に説明し、「市民の皆さんとともに、この難局を克服し、藤の未来への飛躍に繋げていく」と決意を表明しました。

「負担増」の県国保運営方針は見直しを

埼玉県第2期国民健康保険運営方針（期間は3年間）が決定。市町村による市民負担軽減のための繰入金金を2024年までに解消するなど、事実上、コロナ危機に苦しむ市民・自営業者の負担増につながる内容です。

今後、国の財政支援強化を求め、市民の負担を引き下げる運動がいつそう重要になってきます。



悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子

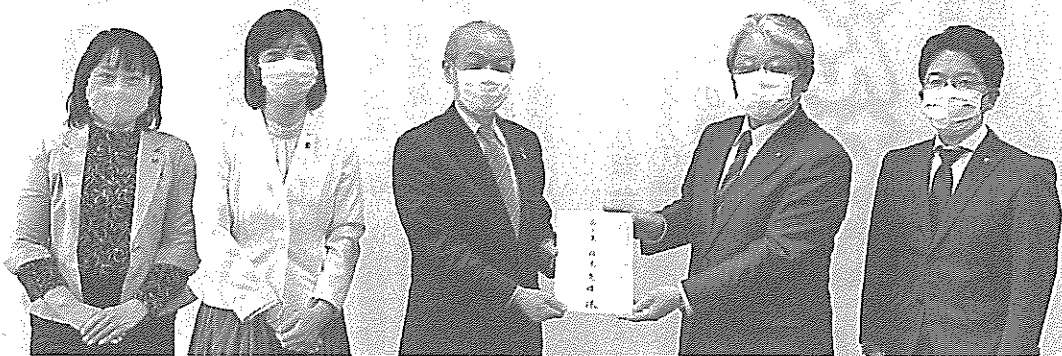


宮下奈美



武下 涼

ワクチン接種の推進、検査医療の充実、暮らし営業の支援を 日本共産党蕨市議団が緊急申し入れ



蕨市長（中央）に申し書を手渡す日本共産党市議団
（左から宮下市議、山脇市議、蕨市長、鈴木市議、武下市議） 市役所仮設庁舎2階
3月30日、日本共産党市議団は、蕨市長に「新型コロナウイルス感染症の対策に関する緊急申し入れ（4回目）」を手渡しました。現状を踏まえ、ワクチン接種の着実な実施、感染防止のための相談、検査、医療体制の拡充、暮らし・営業支援などの対策を求める内容です。

2021年 3月議会報告

コロナ危機を乗り越え いのち・暮らし・営業を守る 「あったか市政」の推進を

蕨市新型コロナ緊急対策 第5弾（概要）

〈更なる検査・医療体制の充実強化〉

○高齢者施設等従事者に対するPCR検査委託事業

重症化リスクの高い高齢者や障害者が入居する市内全ての施設の従事者に、月1回（計2回）のPCR検査を無料実施

○市立病院の医療体制強化支援事業

〈生活支援・経済対策〉

○蕨市フードパントリー補助事業

食料配布と生活相談を実施する蕨市社会福祉協議会へ補助

○蕨市電子商品券支給事業

全世帯への家計応援、地域経済の活性化、市内事業所への支援を図るために、全市民に1人3,000円の電子商品券を支給

〈ワクチン接種体制の確立〉

○新型コロナワクチン接種事業

市民へのワクチン接種に向け、接種券等の印刷やコールセンターの設置、システム改修など、接種体制を構築し、医療従事者・高齢者への接種をスタート

※詳しくは市役所にお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

3月市議会は新型コロナウイルス感染症拡大が深刻な状況で開催されました。蕨市長は市政運営について「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」をテーマに、緊急対策第5弾など、市民の暮らしを支えるために全力で取り組む考えを示し

ました。日本共産党市議団も市民の声を届け、さらなる対策を求める立場で審議に臨みました。

検査・医療体制 でも努力

自公政権が長年にわたる保健所や医療体制を縮小して来たことが、新型コロナウイルス感染症拡大による深刻な事態を招いてきました。日本共産党は無症状者を含む検査や医療体制の充実などを固く要請。市にも独自の対策を求めています。

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2021年4・5月号

TEL 443-8332
FAX 444-6531

市会議員

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎443-8332
ホームページ http://www.jcp-warabi.jp
メール info@jcp-warabi.jp



3月市議会 やまわき紀子議員の一般質問



やまわき 紀子 のプロフィール

- わらび生まれわらび育ち
- 現在、市議6期、環境福祉経済常任委員会委員長、原水禁止市協議会副会長。保育園、学童、小中高校PTA役員など歴任。
- 住所 南町2-31-14 TEL・FAX446-3129
メール yamawaki@jcp-warabi.jp
- 主な活動地域は、南町全域。

困りごとや市政への要望など
ご相談お受けしています。

HPで情報発信中

市民負担増につながる県国保 運営方針（第2期）の内容は

市民生活部長 2024年度までに赤字を解消する目標年次の設定、国保水準の統一、法定限度額の統一を目指す3点が主なもの。
山脇 どういった意見をあげたか。
部長 市町村の実態をふまえた設定、被保険者の負担に配慮した対応策をもちこむよう意見表明したが、反映には至らなかった。

山脇 本市の計画は、それに伴いどう変更されたか。

部長 本市の赤字削減・解消計画は2019年3月に赤字額8億円に対して約3割削減する計画書として提出していたが、第2期方針

の策定をつけて23年度までに約7割を削減目標として計画書を提出。山脇 市長の見解はどうか。

市長 国保は皆保険制度の要となる大事な制度である。第2期方針は市の意見が反映されていない。市民の暮らしを守る立場から国には責任を果たすべきだと市長会などを通じて意見を挙げていく。

「子育てするならわらび」

山脇 待機児童解消に向けてどのような対策を行うか。

健康福祉部長 保育・子育てコンシェルジュによるきめ細やかな相談対応等により解消をはかる。山脇 子育てAプロジェクトの

拠点場所や進捗状況は。

総務部長 京都大学とほつこりのプラスとの3者間の連携協定に基づき、新年度には実証実験を行うため、福祉・児童センター内にAとオンライン相談を活用した相談拠点の設置を予定。

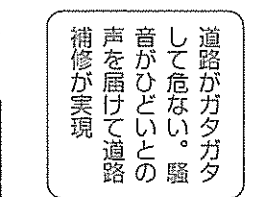
山脇 子育てアプリにワクチン接種や健診時期、子育て情報など市の子育て情報もリンクできるように対応を要望する。

◆「見通しのよい公園へ」質問。

地域の皆さんの声を届けて実現



「コミバスの南ルート」の拡充と市役所へ直結に続き、南公民館のバス停にベンチを設置



道路がガタガタして危ない。騒音がひどいとの声を届けて道路補修が実現



公園の落ち葉が多くて困る、暗くなって危ないとの声から各公園の樹木剪定実現。大変喜ばれました。

日本共産党市議団の 一般質問

日本共産党市議団は全員が一般質問を行いました。以下、各議員の質問の概要・テーマを紹介いたします。

鈴木さとし議員

◆コロナ禍と高齢者施策（見守りの拡充・高齢者の居場所づくり・認知症対策など）

◆防災の取り組み、特に避難所運営と大規模水害時の対応について



宮下奈美議員

◆高齢者の「ゴミ出し」支援「ふれあい収集」の実施を

◆子どものメディア依存、健康被害について

◆ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成制度の拡充を求める



武下涼議員

「武下」子ども達が自由に遊べる空間の確保を



「市長」ボール遊び等の問題を考えていきたい。ほかに「いのちを守るためのアウトリーチの推進を」自殺予防対策の観点から、相談窓口の周知強化を要望しました。

2021年 市民を守る対策を盛り込んだ予算が成立

安全安心のまちへ

- ◆土地開発公社「第3次経営健全化計画」最終年にあたり約12億円の借金を解消
- ◆新庁舎建設事業 現庁舎の解体工事と新庁舎建設工事 完成2023年
- ◆Net119緊急通報システム（障害がある方の通報を可能にするシステム）の整備
- ◆高規格救急車を1台増やして4台体制に
- ◆洪水ハザードマップを県の被害想定変更に伴い改定し、想定浸水深などの情報を追加
- ◆防災行政無線の一斉情報伝達サービス 希望者に放送内容をメール・電話・ファックス等で提供

みんなにわたからまちへ

- ◆手話言語条例リーフレットを作成し市民に周知
- ◆レスパイトケア事業補助金 医学的ケアが必要な心身障がい児を受け入れた施設に補助
- ◆子ども医療費の入院分を2022年10月から18歳まで拡充
- ◆第3地域包括支援センターを塚越2丁目に開設
- ◆子ども家庭総合支援拠点を設置し、児童虐待などの相談体制を強化
- ◆ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成金の対象拡大（対象家賃の上限を6万円から8万円に引き上げ）
- ◆民間留守家庭児童指導室を北町に増設
- ◆保育・子育てコンシェルジュを2名に増員し待機児童解消をめざす
- ◆新生児聴覚スクリーニング検査費助成 聴覚障害の早期発見・早期療育を目的に検査費の一部を助成
- ◆35人程度学級 市内小学校4学級で実施
- ◆スクールサポートスタッフ 感染防止など増加した事務に対応するため各小中学校に1名を配置
- ◆英語力の向上（中2・3年生を対象とするGTEC受験等を委託）

快適でやさしいまちへ

- ◆塚越商店街防犯カメラ入替え
- ◆中心市街地活性化基本計画の期間を1年延長と新プラン策定委託
- ◆道路・公園照明灯 リース方式で1270基をLED化
- ◆塚越陸橋跨線部の改修・耐震補強、廠跨線人道橋の耐震診断、市内全59
- ◆橋について5年に1度の橋りょう点検を実施
- ◆市民公園大型複合遊具の更新工事
- ◆住宅リフォーム助成制度（工事費5%、上限10万円助成）
- ◆多文化共生指針の策定（在住外国人をまちづくりのパートナーに）

コロナ危機から市民を守る

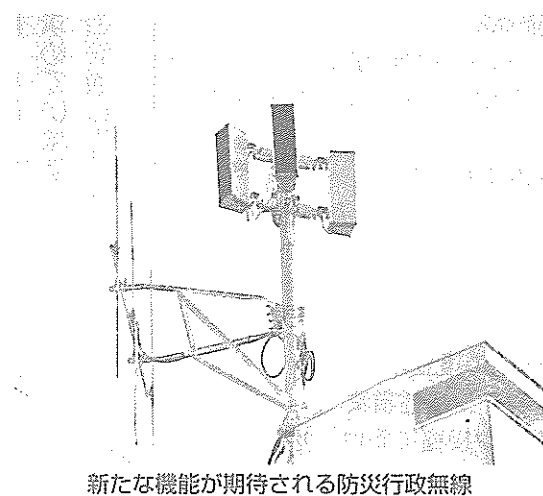
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 高齢者の接種は5月から。はじめに施設入所者、以降については85歳以上、75〜84歳、65〜74歳と高齢者階層から順次予約を受け付け。
- 接種方法は、身近な医療機関（16か所）における個別接種（平日等）に加え、日曜日と木曜日に、保健センターを会場に集団接種を予定。問い合わせや予約はコールセンター05

コロナ危機にこそ「あったか市政」の真価を発揮 頼高市長の施政方針

頼高市長は、施政方針で、「コロナの影響で市民の皆さんが厳しい状況にある中だからこそ、『あったか市政』の真価を発揮する時」との見解を表明。2021年度は、「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」をテーマにまちづくりを推進していくと

表明しました。

また、「コロナ緊急対策第5弾」や「3つの重点事業と三大プロジェクト」について詳細に説明し、「市民の皆さんとともに、この難局を克服し、市の未来への飛躍に繋げていく」と決意を表明しました。



新たな機能が期待される防災行政無線



第3地域包括支援センター（塚越2丁目）



更新される市民公園の大型複合遊具

悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



宮下奈美

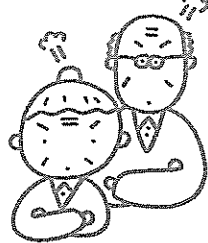


武下 涼

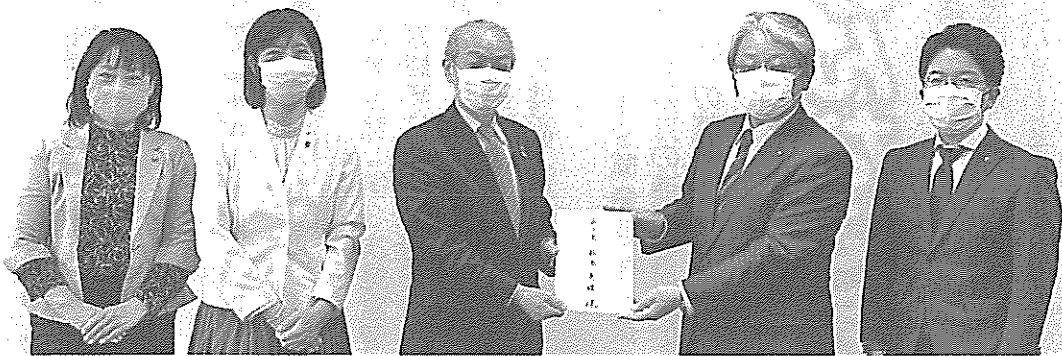
「負担増」の県国保運営方針は見直しを

埼玉県第2期国民健康保険運営方針（期間は3年間）が決定。市町村による市民負担軽減のための繰入金金を2024年までに解消するなど、事実上、コロナ危機に苦しむ市民・自営業者の負担増につながる内容です。

今後、国の財政支援強化を求め、市民の負担を引き下げる運動がいつそう重要になってきます。



ワクチン接種の推進、検査医療の充実、暮らし営業の支援を 日本共産党蕨市議団が緊急申し入れ



蕨市長（中央）に申し入れを手渡す日本共産党市議団

（左から宮下市議、山脇市議、蕨市長、鈴木市議、武下市議） 市役所仮設庁舎 2階

3月30日、日本共産党市議団は、蕨市長に「新型コロナウイルス感染症の対策に関する緊急申し入れ（4回目）」を手渡しました。現状を踏まえ、ワクチン接種の着実な実施、感染防止のための相談、検査、医療体制の拡充、暮らし・営業支援などの対策を求める内容です。

2021年 3月議会報告

コロナ危機を乗り越え いのち・暮らし・営業を守る 「あったか市政」の推進を

3月市議会は新型コロナウイルス感染症拡大が深刻な状況で開催されました。蕨市長は市政運営について「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」をテーマに、緊急対策第5弾など、市民の暮らしを支えるために全力で取り組む考えを示し

ました。日本共産党市議団も市民の声を届け、さらなる対策を求める立場で審議に臨みました。

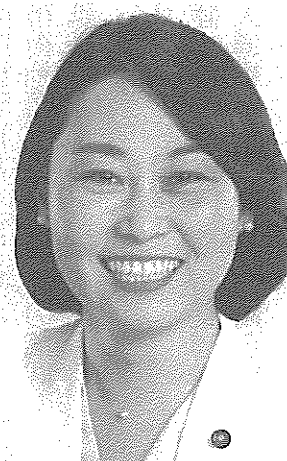
検査・医療体制でも努力
自公政権が長年にわたる保健所や医療体制を縮小して来たことが、新型コロナウイルス感染症拡大による深刻な事態を招いてきました。日本共産党は無症状者を含む検査や医療体制の充実などを国に要請。市にも独自の対策を求めています。

市民向けの動画「もしあなたの
おとなりがDVかも？」まずどう
する？はじめの行動（仮称）を、
相談員や職員の知識やスキルを活
かして作り、記録を残し、市民が
個々のタイミングで見たり、学べ
たりするよう提案。

に高齢者入所施設従事者
への集中的な検査などを
実施してきたことや、市
立病院が検査や感染者の
診療、他病院でのクラス
ター発生時の救急医療な
ど重要な役割を担ってき
たことが示されました。

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎443-8332
ホームページ <http://www.jcp-warabi.jp> QRコードはこちら→
メール info@jcp-warabi.jp

3月市議会 宮下奈美議員の一般質問



宮下 奈美 のプロフィール

- 1976年生まれ・保育士。
- 市議2期。教育まちづくり常任委員会・副委員長、蕨市立病院審議会委員、蕨市上下水道審議会委員、社会福祉をよくなる蕨の会事務局次長、蕨市国際交流実行委員、蕨エルドラド姉妹都市協力会会員、PTA会長・役員など歴任。
- 住所 錦町5-1-8
- TEL211-0922

ブログ（はてなブログ）
Blog-Nami Miyashita



高齢者・障がい者のための「ゴミ出し」「ふれあい収集」を
宮下 高齢者や障がい者にとつて、大きなゴミ袋や重たい新聞の束を、集積所まで運ぶのは大変な作業。現在本市ではゴミ出し有償ボランティア事業があるが、無料で戸別収集サービスを実施してほしい。市民生活部長
マニフェスト期間内、2023年度中までの実施に向け検討していく。

国の方針もあり、小中学校で一人一台のパソコン等端末が整備されました。しかし、教育におけるICTの活用は利点と問題点の両方を考えるべきです。今議会では、短時間で膨大なデータのやり取りができる反面、子どもの健康障がい等も報告されていることなどを紹介し、質問しました。

啓発し、更なる活用を要望するが考えはどうか。
教育長 各学校には通知等で積極的な活用を促す。校長会でも話している。学校での選択が必要だが指導が受けられる体制づくりをしていきたい。

「ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成制度」について

宮下 子ども3人以上世帯の助成額上限が6万円から8万円に改正された。2017年12月の一般質問※で要望していたことなので感謝する。今後は助成額増額も要望。健康副支部長 研究して慎重に検討していく。

※「子どもの成長につれて広い部屋が必要になるのに、家賃が上がることで対象外になるのは困る」との声を紹介し対応を要望。

DV防止対策の拡充について

市民向けの動画「もしあなたの
おとなりがDVかも？」まずどう
する？はじめの行動（仮称）を、
相談員や職員の知識やスキルを活
かして作り、記録を残し、市民が
個々のタイミングで見たり、学べ
たりするよう提案。

日本共産党市議団の 一般質問

日本共産党市議団は全員が一般質問を行いました。以下、各議員の質問の概要をテーマを紹介いたします。

鈴木さとし議員

- ◆コロナ禍と高齢者施策（見守りの拡充・高齢者の居場所づくり・認知症対策など）
- ◆防災の取り組み、特に避難所運営と大規模水害時の対応について
- ◆他に、学童保育の充実、町会活動支援



やまわき紀子議員

- ◆市民負担増につながる県国民健康保険運営方針（第2期）について
- ◆市対応はどうか
- ◆「子育てするならわらび」保育行政や子育て支援の推進を
- ◆見通しのよい公園へ改善を要望



武下涼議員

- ◆「武下」子ども達が自由に遊べる空間の確保を
- ◆市長ボール遊び等の問題を考えていきたい。
- ◆ほかに「いのちを守るためのアウトリーチの推進を」自殺予防対策の観点から、相談窓口の周知強化を要望しました。



日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2021年4・5月号
TEL 443-8332
FAX 444-6531

市会議員

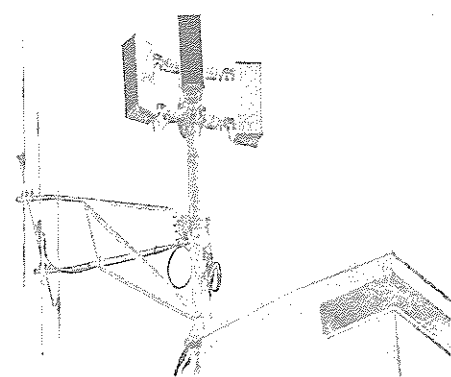
鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎443-8332
ホームページ <http://www.jcp-warabi.jp> QRコードはこちら→
メール info@jcp-warabi.jp



2021年 市民を守る対策を盛り込んだ予算が成立

安全安心のまちへ

- ◆土地開発公社「第3次経営健全化計画」最終年にあたり約12億円の借金を解消
- ◆新庁舎建設事業 現庁舎の解体工事と新庁舎建設工事 完成2023年
- ◆Net119緊急通報システム（障害がある方の通報を可能にするシステム）の整備
- ◆高規格救急車を1台増やして4台体制に
- ◆洪水ハザードマップを県の被害想定変更に伴い改定し、想定浸水深などの情報を追加
- ◆防災行政無線の一斉情報伝達サービス 希望者に放送内容をメール・電話・ファックス等で提供



新たな機能が期待される防災行政無線

みんなにわたからいます

- ◆手話言語条例リーフレットを作成し市民に周知
- ◆レスパイトケア事業補助金 医学的ケアが必要な心身障がい児を受け入れた施設に補助
- ◆子ども医療費の入院分を2022年10月から18歳まで拡充
- ◆第3地域包括支援センターを塚越2丁目に開設
- ◆子ども家庭総合支援拠点を設置し、児童虐待などの相談体制を強化
- ◆ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成金の対象拡大（対象家賃の上限を6万円から8万円に引き上げ）
- ◆民間留守家庭児童指導室を北町に増設
- ◆保育・子育てコンシェルジュを2名に増員し待機児童解消をめざす
- ◆新生児聴覚スクリーニング検査費助成 聴覚障害の早期発見・早期療育を目的に検査費の一部を助成
- ◆35人程度学級 市内小学校4学級で実施
- ◆スクールサポートスタッフ 感染防止など増加した事務に対応するため各小中学校に1名を配置
- ◆英語力の向上（中2・3年生を対象とするGTEC受験等を委託）

快適でやさしいまちへ

- ◆塚越商店街防犯カメラ入替え
- ◆中心市街地活性化基本計画の期間を1年延長と新プラン策定委託
- ◆道路・公園照明灯 リース方式で1270基をLED化
- ◆塚越陸橋跨線部の改修・耐震補強、蕨跨線人道橋の耐震診断、市内全59
- ◆橋について5年に1度の橋りょう点検を実施
- ◆市民公園大型複合遊具の更新工事
- ◆住宅リフォーム助成制度（工事費5%、上限10万円助成）
- ◆多文化共生指針の策定（在住外国人をまちづくりのパートナーに）



更新される市民公園の大型複合遊具



第3地域包括支援センター（塚越2丁目）

コロナ危機から市民を守る

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 高齢者の接種は5月から。はじめに施設入所者、以降については85歳以上、75〜84歳、65〜74歳と高齢者階層から順次予約を受け付け。
- ◆接種方法は、身近な医療機関（16か所）における個別接種（平日等）に加え、日曜日と木曜日に、保健センターを会場に集団接種を予定。問い合わせや予約はコールセンター05

コロナ危機にこそ「あったか市政」の真価を発揮

頼高市長は、施政方針で、「コロナの影響で市民の皆さんが厳しい状況にある中だからこそ、『あったか市政』の真価を発揮する時」との見解を表明。2021年度は、「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」をテーマにまちづくりを推進していくと

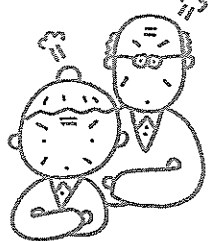
表明しました。

また、「コロナ緊急対策第5弾」や「3つの重点事業と三大プロジェクト」について詳細に説明し、「市民の皆さんとともに、この難局を克服し、市の未来への飛躍に繋げていく」と決意を表明しました。

「負担増」の県国保運営方針は見直しを

埼玉県第2期国民健康保険運営方針（期間は3年間）が決定。市町村による市民負担軽減のための繰入金金を2024年までに解消するなど、事実上、コロナ危機に苦しむ市民・自営業者の負担増につながる内容です。

今後、国の財政支援強化を求め、市民の負担を引き下げる運動がますます重要になってきます。



悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子

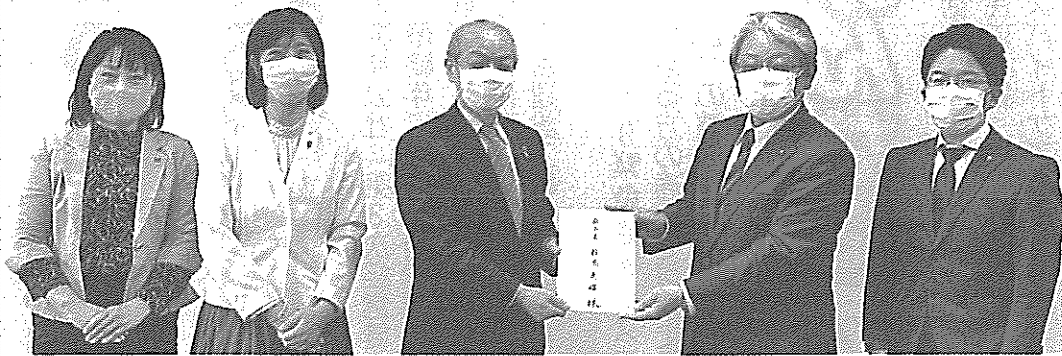


宮下奈美



武下 涼

ワクチン接種の推進、検査医療の充実、暮らし営業の支援を 日本共産党蕨市議団が緊急申し入れ



蕨市長（中央）に申し書を手渡す日本共産党市議団
（左から宮下市議、山脇市議、蕨市長、鈴木市議、武下市議） 市役所仮設庁舎2階
3月30日、日本共産党市議団は、蕨市長に「新型コロナウイルス感染症の対策に関する緊急申し入れ（4回目）」を手渡しました。現状を踏まえ、ワクチン接種の着実な実施、感染防止のための相談、検査、医療体制の拡充、暮らし・営業支援などの対策を求める内容です。

2021年 3月議会報告

コロナ危機を乗り越え いのち・暮らし・営業を守る 「あったか市政」の推進を

蕨市新型コロナ緊急対策 第5弾（概要）

〈更なる検査・医療体制の充実強化〉

○高齢者施設等従事者に対するPCR検査委託事業

重症化リスクの高い高齢者や障害者が入居する市内全ての施設の従事者に、月1回（計2回）のPCR検査を無料実施

○市立病院の医療体制強化支援事業

〈生活支援・経済対策〉

○蕨市フードパントリー補助事業

食料配布と生活相談を実施する蕨市社会福祉協議会へ補助

○蕨市電子商品券支給事業

全世帯への家計応援、地域経済の活性化、市内事業所への支援を図るために、全市民に1人3,000円の電子商品券を支給

〈ワクチン接種体制の確立〉

○新型コロナワクチン接種事業

市民へのワクチン接種に向け、接種券等の印刷やコールセンターの設置、システム改修など、接種体制を構築し、医療従事者・高齢者への接種をスタート

※詳しくは市役所にお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

3月市議会は新型コロナウイルス感染症拡大が深刻な状況で開催されました。蕨市長は市政運営について「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」をテーマに、緊急対策第5弾など、市民の暮らしを支えるために全力で取り組む考えを示し

ました。日本共産党市議団も市民の声を届け、さらなる対策を求める立場で審議に臨みました。

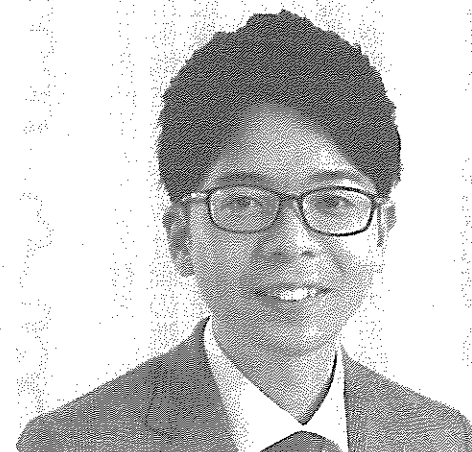
検査・医療体制でも努力

自公政権が長年にわたる保健所や医療体制を縮小してきたことが、新型コロナウイルス感染症拡大による深刻な事態を招いてきました。日本共産党は無症状者を含む検査や医療体制の充実などを国に要請。市にも独自の対策を求めています。

に高齢者入所施設従事者への集中的な検査などを実施してきたことや、市立病院が検査や感染者の診療、他病院でのクラスター発生時の救急医療など重要な役割を担ってきたことが示されました。

また、新型コロナ対策全体で蕨市長は「市民はかつてなく厳しい」との認識を示し、緊急対策第5弾の他「必要な対策は、あったか市政の真価を発揮する立場から機能的に対応する」と述べました。

3月市議会 武下涼議員の一般質問



武下 涼のプロフィール

◇1990年生まれ

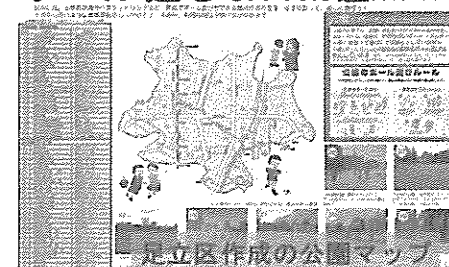
◇現在、市議1期、環境福祉経済常任委員、蕨市消防委員、蕨戸田衛生センター組合議員、消費税をなくす埼玉の会常任世話人

◇住所 北町1-13-10

◇主な活動地域は、北町全域、塚越1・4・5丁目

【他自治体の事例】
都内においても遊び場が少ない中で、子ども達が自由に遊べる空間確保に向けた工夫が進められています。板橋区では、学校校庭の限定的な一般開放が行われています。

ボール遊び おすすめ公園MAP



足立区キャッチボール公園

千代田区

ボール遊びのできる公園整備 相談窓口等の周知強化を

◆子ども達が自由に遊べる空間の確保を
武下「この子たちにも思いっきりボール遊びをさせてあげたい」などの保護者の声を伺った。総人口に占める「子ども」の割合は減少しており、社会の中で子どもはマイノリティになっている。全国的に公園数は増加。一方で「ボール遊び禁止」など、遊びづらいつながっている。都市計画のひとつである公園や学校校庭等の活用など、子ども達との遊び場を確保する必要がある。子ども達、地域の声を聞きながら検討していきたい。

市長 自由に遊べる空間は、健やかな成長、子育てのしやすいまちにとって大事。錦町区画整理の中での新たな公園計画の検討、リニューアルの機会、また学校施設は学校教育最優先だが、今後研究していく価値がある分野であり、公園の整備を進めながら、ボール遊び等の問題を考えたい。

◆いのちを守るためのアウトリーチの推進を
自殺予防対策という観点から、他市の先進事例など取り入れ、相談窓口の認知度を高めるよう要望。

日本共産党市議団の 一般質問

日本共産党市議団は全員が一般質問を行いました。以下、各議員の質問の概要をテーマを紹介いたします。

やまわき紀子議員

◆市民負担増につながる県国民健康保険運営方針（第2期）について市の対応はどうか

◆「子育てするならわらび」保育行政や子育て支援の推進を



鈴木さとし議員

◆コロナ禍と高齢者施策（見守りの拡充・高齢者の居場所づくり・認知症対策など）

◆防災の取り組み、特に避難所運営と大規模水害時の対応について



宮下奈美議員

◆高齢者の「ゴミ出し支援」「ふれあい収集」の実施を

◆子どものメディア依存、健康被害について



日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2021年4・5月号

TEL 443-8332
FAX 444-6531

市会議員

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎443-8332
ホームページ http://www.jcp-warabi.jp
メール info@jcp-warabi.jp

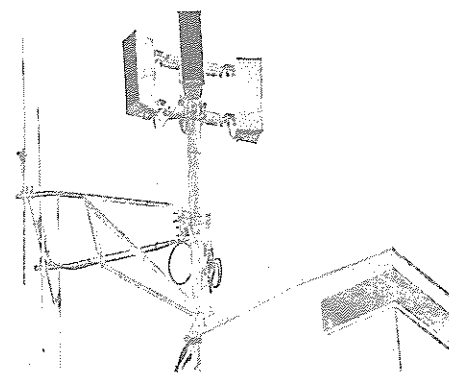


2021年 市民を守る対策を盛り込んだ予算が成立

安全安心のまちへ

◆土地開発公社「第3次経営健全化計画」最終年にあたり約12億円の借金を解消
◆新庁舎建設事業 現庁舎の解体工事と新庁舎建設工事 完成2023年
◆Net119緊急通報システム（障害がある方の通報を可能にするシステム）の整備

◆高規格救急車を1台増やして4台体制に
◆洪水ハザードマップを県の被害想定変更に伴い改定し、想定浸水深などの情報を追加
◆防災行政無線の一斉情報伝達サービス 希望者に放送内容をメール・電話・ファックス等で提供



新たな機能が期待される防災行政無線

みんなにわたたかいまちへ

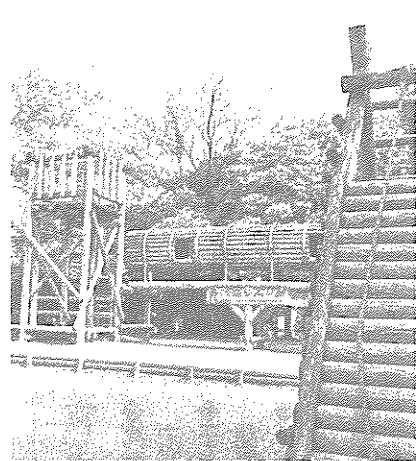
◆手話言語条例リーフレットを作成し市民に周知
◆レスパイトケア事業補助金 医学的ケアが必要な心身障がい児を受け入れた施設に補助
◆子ども医療費の入院分を2022年10月から18歳まで拡充
◆第3地域包括支援センターを塚越2丁目に開設
◆子ども家庭総合支援拠点を設置し、児童虐待などの相談体制を強化
◆ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成金の対象拡大（対象家賃の上限を6万円から8万円に引き上げ）

◆民間留守家庭児童指導室を北町に増設
◆保育・子育てコンシェルジュを2名に増員し待機児童解消をめざす
◆新生児聴覚スクリーニング検査費助成 聴覚障害の早期発見・早期療育を目的に検査費の一部を助成
◆35人程度学級 市内小学校4学級で実施
◆スクールサポートスタッフ 感染防止など増加した事務に対応するため各小中学校に1名を配置
◆英語力の向上（中2・3年生を対象とするGTEC受験等を委託）

快適でやさしいまちへ

◆塚越商店街防犯カメラ入替え
◆中心市街地活性化基本計画の期間を1年延長と新プラン策定委託
◆道路・公園照明灯 リース方式で1270基をLED化
◆塚越陸橋跨線部の改修・耐震補強、蕨跨線人道橋の耐震診断、市内全59

橋について5年に1度の橋りょう点検を実施
◆市民公園大型複合遊具の更新工事
◆住宅リフォーム助成制度（工事費5%、上限10万円助成）
◆多文化共生指針の策定（在住外国人をまちづくりのパートナーに）



更新される市民公園の大型複合遊具



第3地域包括支援センター(塚越2丁目)

コロナ危機から市民を守る

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 高齢者の接種は5月から。はじめに施設入所者、以降については85歳以上、75〜84歳、65〜74歳と高齢者階層から順次予約を受け付け。

接種方法は、身近な医療機関（16か所）における個別接種（平日等）に加え、日曜日と木曜日に、保健センターを会場に集団接種を予定。問い合わせや予約はコールセンター05

コロナ危機にこそ「あったか市政」の真価を発揮 頼高市長の施政方針

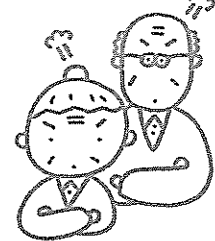
頼高市長は、施政方針で、「コロナの影響で市民の皆さんが厳しい状況にある中だからこそ、『あったか市政』の真価を発揮する時」との見解を表明。2021年度は、「コロナ禍を乗り越え、未来への飛躍へ」をテーマにまちづくりを推進していくと

表明しました。また、「コロナ緊急対策第5弾」や「3つの重点事業と三大プロジェクト」について詳細に説明し、「市民の皆さんとともに、この難局を克服し、市の未来への飛躍に繋げていく」と決意を表明しました。

「負担増」の県国保運営方針は見直しを

埼玉県第2期国民健康保険運営方針（期間は3年間）が決定。市町村による市民負担軽減のための繰入金金を2024年までに解消するなど、事実上、コロナ危機に苦しむ市民・自営業者の負担増につながる内容です。

今後、国の財政支援強化を求め、市民の負担を引き下げる運動がいつそう重要になってきます。



悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



宮下奈美



武下 涼



ワクチン・検査など 新型コロナウイルス対策 の推進を 市議会議員 鈴木 智

鈴木 今後とも重症患者病床が不足するような流行が懸念される。ワクチン接種の状況は、健康福祉部長（65歳以上への接種に続き）今後60～64歳は6月下旬に、60歳未満は7月に順次接種券を発送する。鈴木 PCR等検査の状況は、健康福祉部長 2～3月の本市の高齢者施設等従事者への検査は811件。濃厚接触者

中学校、留守家庭児童指導室、保育園の教員・職員へのPCR等検査の実施を要望する。電子商品券事業の周知は、市民生活部長 市ホームページ、商工会議所等を通じ周知。鈴木 参加が遅れ不利になる事業者が出ないよう対応を。ところで、減収への補償等が受けられない事業所もある。市の応援金等検討しないか。市民生活部長 国等の支援金制度の動向、事業者の状況を勘案し検討したい。◆小・中学生オリンピック観戦事業の中止を鈴木 世界的パンデミックの中でオリンピック開催は理窟に合わない。また、小・中



待機児童がゼロに！ 引き続き「子育てす るならわらび」をす めてほしい 市議会議員 山脇 紀子

山脇 新年度の保育園の①入園不承諾者数②待機児童数③定員に対する在籍状況は、健康福祉部長 ①0歳児20人、1歳児33人、2歳児10人、3歳児6人の計69人②待機児童は0になった③充足率は90%◆精神障がいのある方へ福祉タクシー券の給付を山脇 県内での実施状況は、部長 63市町村中37団体。近

隣はさいたま市と川口市が1級を対象に実施している。山脇 本市においても実施してほしい。1級のみ支給した場合の試算はどうか。部長 精神障がいには服薬等の適切な治療を受ければ移動に支障のない方がいる。制度の趣旨を踏まえ慎重に研究していく。1級所持者60人に対して利用65%とした場合85万円となる。山脇 症状によっては自転車や公共交通機関を使えない事を考慮し検討を要望する。◆ワンルームマンションの建築規制や管理指導を山脇 今後は市内において狭い土地にワンルームマンションを建てるような事例が発生すると思われる。近隣の良好な関係を築くため、都内の多くの区で実施しているワンルームマンションの規制について、市として検討する考えはないか。指導要綱の対象とならない場合においても、市として指導助言を要望する。都市整備部長 都区部では近隣関係の維持や良好な居住環

6月議会報告

市長提出議案を全て可決・承認

2021年の蕨市議会6月定例会（6月1日～21日）では、市長提出議案10件と、請願1件、陳情3件が審議され、市長提出議案は全て全会一致で可決・同意、請願・陳情は全て不採択となりました（請願・陳情については裏面で詳報）。市長提出議案は、国の

新型コロナウイルス対策を着実に推進

蕨市長の市長報告より

議会初日、蕨市長は、市長報告で、この間の新型コロナウイルス対策について報告しました。主な内容を説明します。

●ワクチン接種事業

集団接種会場を拡充した。当初の計画に加えて、保健センターと東公民館で毎週土曜日、市民体育館小体育室で6月21日から7月末まで月々木曜日に実施。基礎疾患のある方と高齢者施設等従事者への優先接種に続き、一般市民も順次推進。早く安心して受けられるよう全力で取り組む。

●生活支援の推進

子育て世帯生活支援特別給付金の支給を開始。生活が困窮している方々へのフードパントリー事業、生活用品の無料配布などを実施。

●電子商品券支給事業

家計を応援し、地域経済の活性化、事業者の支援につなげる目的で、全ての市民に1人3千円の電子商品券「織りなすカード」を支給する。利

お気軽にお声掛けください

日本共産党市議団の市民相談

8月 4日(水) 18日(水)
9月 15日(水) 29日(水)

時間：いずれも午後2時から4時
場所：仮設庁舎3階 党市議団控室

相談無料

当日の電話は
☎432-3590



女性の生理への理解 貧困対策・ 支援拡充を

市議会議員
宮下 奈美

「生理の貧困」支援にさまざまな団体が取り組んでいる。県立高校等のトイレで生理用品の無償配置が始まった。宮下 本市の小・中学校トイレへの無償配置を行ってほしいが考えはどのようなか。教育部長 大変重要な事と認識している。現場の声を聞きながら検討していきたい（7月9日から実施）。また生理



コロナ以後の まちづくり 生活支援・保障の アウトリーチ推進を

市議会議員
武下 涼

◆「さよなら私のクラーマー」や「観光まちづくり」の観点を取り入れた商工政策を武下 コロナ禍において、コロナ後を見据えたまちのにぎわいを創出する取り組み、準備が重要と考える。「さよなら私のクラーマー」が注目を集めている。藤が舞台の地となるマンガ・アニメといった資源を活かしながら、県や県物産

宮下 市民向けに市としても各課と連携し理解を深める取り組みを行ってほしいが考えはどのようなか。

市民生活部長 思春期にあわせた婦人科知識を広く啓発し情報提供していくことは親や子どもに必要な事と認識している。担当部署と連携をはかりながら周知等に努める。

◆高齢難聴補聴器購入費補助制度の創設を

宮下 加齢性難聴が認知症の重要な危険因子になり得る。本来（この制度）は国でやっていくべきものだが都内などでは独自の制度が作られている。本市でも独自で補助制度

の創設をしてほしい。

健康福祉部長 国や他団体の動向を含め調査・研究していく。

◆香害・化学物質過敏症について

宮下 柔軟剤等「香料」や「化学物質過敏症（頭痛や吐き気等）患者が全国約百万人いると推計される。本市での理解や取り組み、相談はどうか。健康福祉部長 化学的な診断基準が確立されていない。取

り組みや相談はないが、あった場合は症状や内容について傾聴し必要に応じて専門の機関を紹介する。宮下 アンケートやポスター等で周知啓発を要望する。

ているが、制作委員会との協議、著作権料や費用対効果の点が課題だ。コロナ禍の今だからこそ、観光協会、まち連と連携して取り組む「観光コンシェルジュ事業（仮）」を展開していきたい。

武下 前向きな答弁と理解した。藤市にある資源を活かしてほしい。例えば、ぶらっと

わらびについても、広告宣伝として活用し「クラーマー」との連携を波及してほしい。観光という観点でぶらっとわらびの活用を市としてどのように考えているか。

市民生活部長 まち連の企画親子で楽しむ特別企画では、南町で個店を楽しむ周遊ツア

コロナ危機から命・ くらしを守る政治を！ 請願・陳情への討論

今議会への請願・陳情4件については、それぞれ討論が交わされました。以下、論戦の一部を紹介します。

医療破壊・病床削減に ストップを！

「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るため国と関係機関に向けた意見書採択を求める陳情」は令政クラブ、公明党、維新無所属が反対して不採択。しかし、国会で病床削減法や高齢者医療費負担2倍化法が强行

される等国による医療破壊が続く中で切実な国民の声を伝える内容です。日本共産党市議団は「再編統合の検討対象の一つに挙げられた藤市立病院は、PCR検査、感染者の治療などでも大きな役割を果

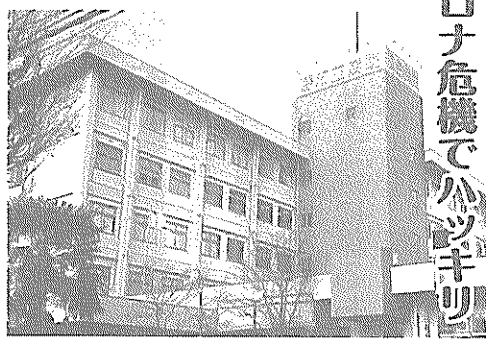
たしてきた「医師や看護師、スタッフの配置が薄く、高度医療や専門医療に対応できる機器も設備も限られている日本医療提供体制を大本から見直すことが必要」社会保障削減、自己責任押し付けの路線から抜け出し、いのちとくらしを大切に社会的実現をめざしてほしいとの声が広がっている」と訴えました。

原発廃止・脱炭素の 推進を！

原発廃止と脱炭素の推進などを求める「陳情」は、令政クラブ、公明党、維新無所属の反対で不採択。日本共産党は、よりよい世界を目指すために国連が掲げた国際目標「SDGs」を示し、「国際目標と本陳情が求めるところは共通し、本陳情のエネルギー政策への積極的な踏み込んだ問題提起を行うなど、それら趣旨に賛同する」と訴えました。

公立病院の拡充こそ必要！コロナ危機でハッキリ

厚労省から「再編・統合の議論が必要な公立・公的病院」の一つとされた市立病院。しかし、PCR等検査やワクチン接種など、コロナ対応で中心的な役割を果たしています。「再編・統合」ではなく「拡充」を！コロナ危機の中でハッキリ示された市民の願いです。



日本共産党市議団の 生活相談

新型コロナの影響で暮らしや
営業が大変という方も、ぜひ
お声がけください。

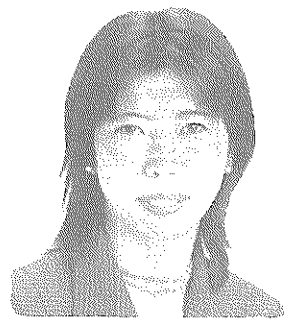
相談日 11月10日(水)・24日(水)
12月 8日(水)・22日(水)



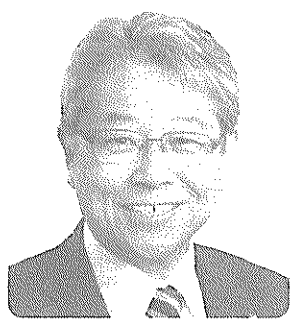
武下 涼



宮下 奈美



山脇 紀子

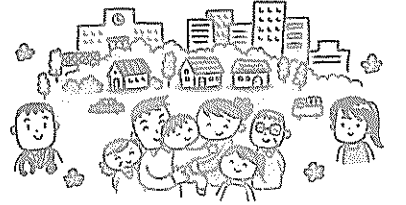


鈴木 智

専門家や市民団体・労働組合などとも協力し、寄せられた相談や「困りごと」の解決をお手伝いします。

9月定例会市議会報告

コロナ危機から命を守る あつたか市政の 役割はつきり



8月、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大(第5波)により、全国的に、「医療崩壊」などの深刻な事態が発生しました。こうした中で行われた9月定例会市議会(9月1日、28日)では、補正予算や決算認定の審議などを通して、

市の対応や影響について様々な角度から議論。日本共産党市議団は、新型コロナウイルスの感染爆発から命と暮らしを守る取り組みについて、各分野を分担して一般質問を行いました。なお、市長提出議案18件は全て可決・認定されました。

市民の命と健康、暮らしを守る よりたか市長の報告

9月議会・市長報告の主な内容を紹介します。

☆☆☆

◆新型コロナウイルス感染症 市の取り組み

(1) 蕨市の対応
医療提供体制が逼迫の度合を増し、自宅療養者が増える中、自宅療養者等へのパルスオキシメーターの貸し出しなどを実施。なお、8月末に「市民の命と

健康を守る蕨市緊急対応」を発表しています。

(2) ワクチン接種事業

日本アンテナ蕨工場を接種会場に。11月までに希望する全市民に接種の見込み。

(3) 電子商品券支給事業

商品券「織りなすカード」の利用を開始。期間は10月末まで延長。

◆中学校体育館にエアコン

中学校3校で設置工事。2学期当初から使用。

◆保育の充実

新年度、認可保育園を増設。定員69人、塚越1丁目。

◆民間留守家庭児童指導室

中央小地域に新年度開設に向け事業者を募集。

◆新庁舎建設工事について

オリンピック・パラリンピック関連事業について

◆民間との連携協定の締結

市民の願いにこたえ、
新型コロナ対策も推進
2020年度決算

2020年度決算

日本共産党の質疑で示された一般会計決算の主な特徴について紹介します。

◆市民の所得などの状況

課税対象は(コロナ禍前の)2019年。納税義務者数や平均所得の増で若干の収入増。新型コロナの市

税収入等への影響は次年度から顕著になる見込み。

◆市税等の収納への配慮

滞納処分はコロナ禍における生計維持や事業継続に配慮しながら実施。感染症拡大の影響で減収となった市民には、徴収猶予の特例を個人分・法人分で336件の申請すべてに適用。

◆新型コロナ緊急対策の実施状況

一人10万円の特別定額給付金の支給、ひとり親等への支援金など国等の事業に加え、市としても以下のような対策を実施しました。

○小規模企業者応援金第1弾(2020年5〜7月)

は家賃分を含めて1476件で総額約1億6090万円を給付。第2弾(9月〜11月)は1627件で総額1億6270万円を給付。

○マタニティパスは484名(92%)の妊婦に交付

65歳以上のコロナ検査助成は17件実施

○濃厚接触者以外のコロナ検査委託は35件実施

行政検査協力医療機関として市内11カ所に各10万円補助

◆保育園などで定員を拡大

待機児童が減少

◆就学援助・党市議団が提案した就学前支給が定着

日本共産党市議団
ニュース

2021年10・11月号

TEL 443-8332
FAX 444-6531

〈市議会議員〉ご相談など、いつでもどうぞ

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎443-8332
ホームページ <https://www.jcp-warabi.jp>
メール info@jcp-warabi.jp

日本共産党 蕨市議団の一般質問

新型コロナウイルス感染爆発から市民の命を守る蕨市の対応



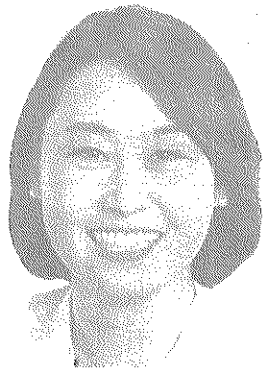
市議会議員
鈴木 智

鈴木 第5波の感染拡大の影響は深刻であり、行政権の責任は重い。蕨市は命を守る対策に全力をあげてほしい。本市のパルスオキシメーター貸与の取り組みと合わせ、自宅療養者の状況把握や医療との連携、生活支援など行っている。健康福祉部長 今後どのような生活支援が行えるか検討。

鈴木 自療養は療養ではなく「放置」の状況。3月議会でも要望したが、市の対応を早急に具体化してほしい。鈴木 市立病院の対応。検査と患者受け入れ状況はどうか。病院事務局長 発熱外来、感染症患者受け入れ、ワクチン接種の3業務にあたっている。6月は検査479件に対し陽性者25名、7月は543件で69名、8月は1585件で4

57名と、検査件数、陽性者数ともに爆発的に拡大している。昨年11月以来31名の患者を受け入れた。受け入れ患者は、当初は軽症者、現在は中等症に移行している。鈴木 近隣地域や医療機関等との連携はどのようか。病院事務局長 民間医療機関がコロナ専門病床に移行し、当院等3医療機関で輪番制の救急体制を構築している。

鈴木 命を守る市立病院の役割が一層はつきりした。「再編・統合」が課題となる地域医療構想調整会議でも急性期医療を担う市立病院の役割を訴えてほしい。◆ほかに国保の現状と課題等



市議会議員
宮下 奈美

オンライン授業での学びの保障など教育現場での新型コロナウイルス対策

学校でのコロナ対策にかかわる答弁の主な内容

○新学期からは、午前は学校での授業、午後はパソコンを持ち帰り家庭でのオンライン学習を行う（現在は通常授業。感染者発生時は、県立学校の判断基準を参考に学校医の助言を受け措置を講じる。）

○オンライン授業について各家庭でのWi-Fi整備状況

は99・13%。ネット環境などオンライン授業に不都合がある家庭については、学校でオンライン授業を受けてから帰宅することとする。家庭の通信環境に配慮し、動画作成は短くする等の工夫を行う。

コロナ対策に関連し教育委員会に要望したこと
○不織布マスクの有効性とともに体質的に着けられない人

がいることを教える等対応を。また、感染症対策のひとつとして、不織布マスクは、忘れた人が保健室でもらえるだけでなく、必要な人が必要な時にいつでももらえる仕組みづくりを要望する。

○コロナについての学びの機会が必要。例えば医師を呼んで、まずは校長・教頭・養護教諭で勉強会を開くなど、コロナについての学びとコミュニケーションを重視する取り組みを行うよう要望する。

◆ほかに小規模企業者応援金第3弾の実施を要望。また織りなすカードを使い切る工夫についても要望・提案した。



市議会議員
山脇 紀子

保育施設での新型コロナウイルス感染防止対策等について質問

山脇 感染状況はどうか。その際の消毒等の対応はどうか。健康福祉部長 保育園で31名、留守家庭児童指導室で17名、子育て支援センターで1名の感染を確認（9月14日現在）。8月以降、保育園での感染者が増加し、保健所からの指導により職員による消毒・清掃を行ってきた。多くの感染者が発生した施設では専門業者

による消毒を実施。山脇 休園の状況はどうか。その際の代替保育は実施されているのか。部長 保育園では一部クラスのみ5園、全面休園6園。留守家庭児童指導室は2室で全体的な休室を実施。感染の可能性のある児童の代替保育は難しく実施していない。

山脇 留守家庭児童指導室と

学校とはどのような連携がとられているか。常勤指導員の配置が必要だと思うがどうか。大学生アルバイトの配置状況はどうか。部長 指導室と小学校の間で直接連絡を取り合い、連携を図っている。常勤の指導員の必要性は感じている。大学生2名が配置され好評である。山脇 PCR検査の定期的な実施を行ってほしいがどうか。部長 県より抗原検査簡易キットが配布されるので申請したところである。検討する。

◆ほかに「ワンルームマンション建設の際の近隣との良好な環境保持に指導を」要望。



市議会議員
武下 涼

「表明されない不安や困りごと」へ寄り添う福祉的支援及び広報の積極的推進を

武下 コロナ禍において、「表明されない不安や困りごと」へ寄り添う、支援や広報が必要と考える。本市や市民の活動により、子どもへの支援につながった事例はどうか。

健康福祉部長 NPOや市民活動からの支援事例だが、母親の子どもに対する関心の低下から、子どもが不登校状態となった母子家庭世帯がある。

長年、児童福祉課もかわつてきたが、子ども食堂を利用され、社会的な関わりができた結果として、児童福祉課、学校スクールソーシャルワーカー支援によって、高校進学につながった事例がある。

武下 自治体や民間が連携し、子どもの支援に結びついた重要な事例だと考える。支援から解決といえる段階までに相

当な労力や時間を要する。市民の活動や学習支援事業が子どもの支援に重要な役割を果たしている。子どもの貧困対策にあたって、あらためて子どもの生活実態調査、子どもの支援にかかわる団体などの資源量の把握を進め、貧困の連鎖を断つ取り組みに力を入れていただきたいが、考えはどうか。

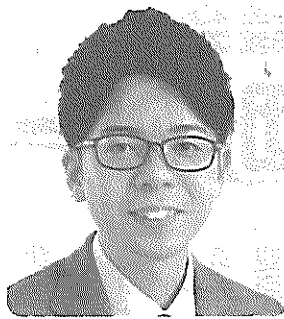
健康福祉部長 他の事例なども踏まえ検討していく。

◆ほかに 生活困窮世帯への新型コロナウイルス感染症防止のための衛生用品を支援・提供できるような仕組みを検討・具体化するよう要望。

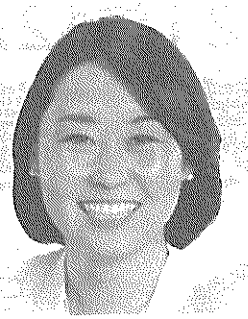
日本共産党市議団の ♣生活相談♣

新型コロナの影響で暮らしや
営業が大変という方も、ぜひ
お声がけください。

相談日 2月2日(水)・16日(水)
3月10日(木)・23日(水)



武下 涼



宮下 奈美



山脇 紀子



鈴木 智

専門家や市民団体・労働組合などとも協力し、寄せられた相談や「困りごと」の解決をお手伝いします。

市民のいのち・くらしを守る市政を よりたか市長に予算要望書を手渡す



11月16日、日本共産党市議団は、頼高英雄市長(写真中央)に「2022年度の予算編成に対する要望書」を手渡しました。重点要望は「新型コロナウイルスから市民の命とくらし・営業を守る」などの6つのテーマで構成され、全28項目です。

議会初日、頼高英雄市長は、「長引くコロナ禍の影響により、市民生活や地域経済

は依然として厳しい状況にあり、冬の感染再拡大、いわゆる第6波の発生も懸念される」と述べ、①生活支援・経済対策、②医療・療養者支援対策、③3回目

新型コロナ緊急対策 など 頼高英雄市長 の報告

済は依然として厳しい状況にあり、冬の感染再拡大、いわゆる第6波の発生も懸念される」と述べ、①生活支援・経済対策、②医療・療養者支援対策、③3回目

新型コロナの感染拡大から いのち・くらし・営業を守る

12月定例会市議会は12月16日まで行われ、市長提出議案9件のすべてを可決しました。一方、埼玉県原爆被害者協議会(しんさぎ会)が提出した「日本政府に『核兵器禁止条約』の署名・批准を求める議会決議意見書採択に関する陳情」は、令政クラブ、公明党、維新などが反対し、賛成少数で不採択となりました。

12月定例会市議会報告

蕨市新型コロナ緊急対策第6弾

主な
内容

1 生活支援・経済対策

ひとり親家庭等支援臨時給付金第2弾

児童扶養手当受給家庭に子ども1人あたり2万円の臨時給付金を給付

地域活性化・消費者応援事業第2弾

スマホ決済でポイント20%還元キャンペーン

新型コロナ感染対策支援事業補助金

市内事業者の感染対策の経費に補助(上限5万円)

2 医療・療養者支援対策

第6波に備えた市立病院の体制強化

迅速なPCR検査、抗体カクテル療法などを活用



体制強化が期待される
市立病院

自宅療養者支援事業

パルスオキシメーター貸出や食料品等の提供

救急活動用感染防止機器の整備

救急車内及び使用資機材等の除菌装置を整備し感染対策を拡充

3 3回目のワクチン接種の推進

新型コロナワクチン接種事業

2021年12月より3回目の接種を開始

子育て世帯給付金で 市が迅速な対応

当初、5万円は現金で、残り5万円は原則クーポンなどで支給するとされていた国の子育て世帯臨時特別給付金(所得制限あり)。しかし、全額現金での支給を求める声やクーポン方式の多額の事務経費への批判が広がる中、岸田首相は、急遽、国会で全額現金支給

からなる「蕨市新型コロナ緊急対策第6弾」をとりまとめたことを報告。「市民の皆さんの健康と暮らし、市内事業所の皆さんの営業を守るとともに、第6波にしっかりと備え、一日も早く豊かな日常を取り戻すため、全力を尽くしてまいります」と述べました。

生きていく限り 核兵器廃絶を訴える

被爆体験など陳述

埼玉県原爆被害者協議会の原明範会長は、12月1日の総務常任委員会での自身の被爆体験を交えて陳述し「子どもの世代、孫の世代に、この核兵器を残したまま未来を託すわけにはいきません」「私たちは生きていく限り、核兵器廃絶を叫びます」と訴え、陳情の採択を求めました。



蕨駅前の平和都市宣言塔

を認めました。この変更は蕨市は迅速に対応。今議会では、児童手当受給世帯に全額現金で年内に支給するための補正予算が追加提案され、全会一致で可決しました。

日本共産党 蕨市議団 ニュース

2022年1・2月号

TEL 443-8332
FAX 444-6531

〈市議会議員〉ご相談など、いつでもどうぞ

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129

宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎443-8332

ホームページ <https://www.jcp-warabi.jp>

メール info@jcp-warabi.jp



利用しやすい市民葬 に提案

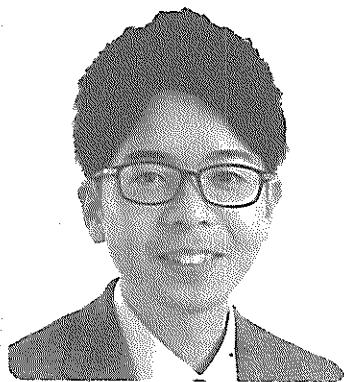
市議会議員
山脇 紀子

山脇 新型コロナの影響もあり家族葬（一日葬）や直葬（火葬式）がふえている。さらに祭壇を利用しない事情も出てくる。柔軟に対応できる葬祭事業へと拡充する考えは、健康福祉部長 2013年度以前は葬儀の4割、現在は葬儀の2割以上が市民葬を利用。コロナ禍の中、執り行われる

いか。教育長 中学校では全て教科担任制となっていることから、小学校同様きめ細かな指導ができる反面、学級増に伴う教職員の配置のほか、その学年を指導する全ての教員の授業時数が増加するため、教職員一人ひとりの負担が増加することが課題である。

◆子育て支援の推進を

山脇 学校が休業時の朝8時から留守家庭児童指導室の開室についてはどのような検討が進められているか。



子どもたちにとって過 ごしやすいまちづく りの推進を

市議会議員
武下 涼

武下 子どもたちの貧困対策にかかわり、子どもの生活実態調査の検討状況はどうか。

健康福祉部長 調査研究を進めている。

武下 大切な1団体だと理解する。新たな担い手、団体発足の機運醸成には、各課の連携が非常に重要。市民活動において、課題はどうか。

居場所づくり等の団体が増えることは望ましい。



買い物難民 高齢者 等への買い物の場づ くりを

市議会議員
宮下 奈美

宮下 コロナ禍で特にお年寄りが買い物難民になっている。

健康福祉部長 ①特別養護老人ホームで販売事業者を施設に招きイベントで実施することがある。②消費生活協同組合等が宅配サービスを行っているため現在検討は行っていない。

宮下 高齢者施設や高齢者住宅の駐車場出張商店街を開催してほしい。

市民生活部長 提案の施策も参考にしながら実施について検討していきたい。



地球温暖化対策の強 化・再生可能エネル ギーの活用を

市議会議員
鈴木 智

鈴木 地球温暖化・気候危機は深刻で、今後10年の取り組みが特に重要。本市でも積極的な目標や対策等を含む新たな計画が必要と考えるがどうか。また、持続可能エネルギーへの転換など新たな対策についての見解はどうか。

市民生活部長 新たな計画策定を予定している。パリ協定発効など環境分野を取り巻く状況の変化に対応し内容を大規模に改定する。太陽光発電では温暖化対策設備等設置費補助金交付事業での設置機器拡大など検討する。

鈴木 課題は多岐にわたるため体制強化が必要。また、住宅での太陽光発電による電力を地域に供給する「電力の地産地消」の取り組みについて、広報や補助制度などで行政が後押しできないか検討を要望する。

◆きめ細かな認知症対策を

鈴木 一人暮らしなど、認知症の把握や支援が難しい世帯への対応と課題はどうか。

健康福祉部長 高齢者調査や近所の方、民生委員からの通報で把握。早期発見が大切で、近所の方が気づける体制づくりが必要と考える。

鈴木 町会や見守り活動などの役割も重要。包括支援センターなど身近な相談窓口について一層の広報を求める。

◆他に、多文化共生指針、外国人住民をまちづくりのパートナーと位置付ける対応などについて質問しました。